

【総論】地域包括ケアを支える地域リハビリテーション／地域リハビリテーション支援体制の構築に向けて【創生編】地域リハ支援体制のロードマップと実践／広域的な市町村

【進展編】効果的な市町村支援に向けた地域リハ支援体制の活用／市町村への伴走型支援の実際と工夫／地域課題（ニーズ）の発見と事業展開【発展編】

ススメ／市町村事業における専門職の活用：市町村支援として専門職にできることと連携と地域包括ケアの拠点機能／運動性ある事業展開とPDCAの実践



※ 施設包括ケアに関する地域支援／支angan体制の活用・実践／複数市町村の立候補事例の実施における実績／市町村事業における専門職の活用：効果的な市町村事業の実施における実績

2022/2/7 Mon - 18 Fri

オンデマンド配信※ [参加費無料]

※ 配信期間中、お好きな時間に視聴いただけます。

地域リハビリテーション支援体制において、行政・医師会・関係団体との連携・協働など、三者協働体制の構築に関する具体的なプロセスや活動内容等を具体的に示し、各都道府県における地域の実情に応じた地域リハビリテーション体制の構築・深化に向けた一助としつつ、地域リハビリテーションと地域包括ケアの概念を共有することを目的に、本研修を開催します。

【対象者】

行政担当者（都道府県・市町村関係者）、地域リハに係る関係団体および専門職

【プログラム】

内 容

総論

都道府県

広域／圏域

市区町村

- ・地域リハの歴史と概念（地域包括ケアとの関係性）
- ・地域リハ支援体制の意義と効果
- ・地域リハ支援体制の全体像と役割

- ・厚労省における地域リハビリテーションのビジョン
- ・地域リハ支援体制のあるべき方向性
- ・地域リハビリテーション活動支援事業への期待

- ・地域リハ支援体制の構築に向けたプロセス
- ・関係団体との連携に向けた工夫と役割分担
- ・地域リハ協議会／県リハ支援センターの役割と実践
- ・府内連携と予算の確保

- ・市町村支援の仕組みづくり
- ・広域的支援が可能な人材育成（関係団体との協働）
- ・関係団体・機関との情報連携の促進

- ・保健・福祉・医療・介護の枠を超えた地域リハ体制の整備
- ・地域共生社会（理念）の実現に向けた先進事例の紹介

- ・住民支援に資する人材育成の体制と工夫
- ・派遣体制の構築に向けた人材確保
- ・行政機関との信頼関係の構築
- ・活動財源の確保方法

- ・市町村課題の把握と分析手法
- ・市町村事業の企画・実践への支援
- ・地域リハ支援センターの効率的な運営

- ・高次脳や認知症対応の拠点機能の実例
- ・複数市町村間における連携促進の工夫

- ・府内関連部署、関連機関・団体との連携
- ・ニーズ調査等を活用した事業の実践
- ・活動に必要な予算の確保方法

- ・市町村事業における各専門職の実際
- ・地域リハビリテーション活動支援事業の特長と活用方法
- ・保健事業と介護予防の一体的な実施

- ・指標を用いた地域課題の抽出手法
- ・地域課題に基づく専門職と連携した事業創出の実際
- ・市町村における地域リハ支援体制の構築と協議の場

- ・指標を用いた事業の効果判定
- ・複数事業間の連動性から見える課題と対策
- ・課題分析と対策検討における専門職の活用

申込方法

QRコードまたは下記URLからお申し込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/f139b8f1699796>

締め切り：2月17日（木）16時



【お問い合わせ】

日本リハビリテーション病院・施設協会

（担当：染谷）

お問合せはメールにてお願いいたします。

E-mail r03-rouken@rehakyo.jp